※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２９

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校「古典探究　古文編」　（第一学習社） 高等学校「古典探究　漢文編」　（第一学習社）						
副教材等	プレミアムカラー国語便覧（数研出版） プレミアムカラー国語便覧　準拠ワーク（数研出版） 読解をたいせつにする体系古典文法（数研出版） 改訂版　古典文法　要点整理ノート（数研出版） 錬成古文　大学入学共通テスト対策新装版（尚文出版） 大学入試新古文単語３３６（文英堂）　他、適宜資料を配布する						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本授業は、生涯にわたって古典に親しみ、日本の伝統的な言語文化への理解を深めることを目的としています。作品から時代や心境などを読み解くための「読む能力」、また作品から感じたあなたの思いを表現するための「書く能力」の向上を目指します。そのために必要な文法表現についてもより詳しく学習します。

授業で行う課題以外にも家庭で取組む課題、協働で作り上げる課題など様々な課題に取り組みます。それらの課題とともに、定期考査や日々の学習記録などを総合的に判断して評価します。

文学作品を通して、今まで学んだ知識と伝統的な文化への理解を深め、豊かな言語表現を養う学びにしていきましょう。

２　学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

１、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、文学作品を通じ日本の言語文化に対する理解を深める。

２、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

３、生涯にわたって読書に親しみ、自身を成長させ、狭山高校生として日本の言語や文化の担い手としての自覚を持つと同時に言葉を通した社会や人々との関わりを慈しむ態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

点観	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めているか。特に、古典の世界に親しむために必要とする文語の決まりや特有の表現について理解をしているか。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしているか。特に、古典の世界に親しむために、作品の文章の歴史的・文化的背景などを理解しているか。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古文の説話を読む ［教材］ 叡実、路頭の路頭を憐れむ事（発心集） 鴨長明	a： ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 ・語感を磨き語彙を豊かにする。 b［読］： ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c： ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。 ・時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。	定期考査 学習プリント 課題問題集	指名音読 定期考査 パフォーマンス課題 発問評価	振返りシート パフォーマンス課題 授業態度
	古文の随筆を読む ［教材］ 宮に初めて参りたるころ（枕草子）	a： ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として助動詞について、文語のきまりを理解する。 b［読］： ・自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 ・自由な文体の随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c： ・学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。 ・作品に表れたものの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。	定期考査 学習プリント 課題問題集	指名音読 定期考査 パフォーマンス課題 発問評価	振返りシート パフォーマンス課題 授業態度
	古文の物語を読む ［教材］ 葵の上の出産（源氏物語） 紫の上の死（源氏物語）	a： ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・和歌の詠まれた事情を知る。 ・散文性や叙事性の強い歌物語を読んで、古典の世界の多様性を知る。 b［読］： ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品内容について課題に応じて調査する。	定期考査 学習プリント 課題問題集	指名音読 定期考査 パフォーマンス課題 発問評価	振返りシート パフォーマンス課題 授業態度

※令和４年度以降入学生用

2学期		c： ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。 ・学習課題に沿って異なるテクストと読み比べ、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。			
	漢文を読む ［教材］ 四面楚歌（史記）	a： ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 b［読］： ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。 c： ・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を深めている。	定期考査 学習プリント 課題問題集	指名音読 定期考査 パフォーマンス課題 発問評価	振返りシート パフォーマンス課題 授業態度
	中国の故事を学ぶ ［教材］ 推敲（唐詩紀事）	a： ・漢文の訓読の基本を改めて確認し、現在使われている言葉が漢文に由来することをより学習する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・訓読のきまりを深く理解する。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについてさらに理解する。 b［読］： ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c： ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	定期考査 学習プリント 課題問題集	指名音読 定期考査 パフォーマンス課題 発問評価	振返りシート パフォーマンス課題 授業態度
	古文の評論を読む ［教材］ 深草の里（無名抄）	a： ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として用言について文語のきまりを理解する。 b［読］： ・和歌の風体や表現、詠歌の心得を理解する。 ・歌人の逸話や思い出に触れ、内容を解釈する。 c： ・歌人の心理を解釈し、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。 ・自分の理解を説明できる。	定期考査 学習プリント 課題問題集	指名音読 定期考査 パフォーマンス課題 発問評価	振返りシート パフォーマンス課題 授業態度

3学期	詩歌に親しむ ［教材］ 新古今和歌集	a： ・我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。 b［書］： ・我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・自身で短歌を作成し、表現力を高める。 c： ・短歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって短歌文芸に親しもうとしている。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。	定期考査 学習プリント 課題問題集	定期考査 学習プリント	振返りシート パフォーマンス課題 授業態度

※令和４年度以降入学生用

	詩歌に親しむ ［教材］ 唐詩の世界　春暁・春望	a： ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。 b［読］： ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c： ・漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しをもって漢詩を鑑賞しようとしている。 ・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明しようとしている。	定期考査 学習プリント 課題問題集	指名音読 定期考査 パフォーマンス課題 発問評価	振返りシート パフォーマンス課題 授業態度
	古文の物語に親しむ ［教材］ 三舟の才（大鏡） とりかへばや物語	a： ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・物語を読んで、古典の世界の多様性を知る。 ・「かな文字」を使った作品が増え始めたころの最も有名な作品ともいえる物語を読むことで古典文学の奥深さを知る。 b［読］： ・登場人物の性格や行動に触れ、時代背景の特徴と読み解き方を理解する。 ・内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品内容について課題に応じて調査する。 c： ・物語を積極的に親しみ、学習課題に沿って複雑な人間関係を捉えようとしている。 ・学習課題に沿って関連作品と読み比べ、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。	定期考査 学習プリント 課題問題集	指名音読 定期考査 パフォーマンス課題 発問評価	振返りシート パフォーマンス課題 授業態度

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［ｂ］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　－　）時間

・書くこと　…　（　１０）時間

・読むこと　…　（　６０）時間